会告

去る六月九日に開催されました史学研究会理事・評議員会におきまして、左記の事項が可決、承認されました。

記

一、平成五年度　決算報告
一、平成六年度　予算案
一、役員交替
(1)理事長　朝尾直弘、常務理事　夫馬進、理事　上横手雅敬、応地利明、古屋哲夫、評議員　熱田公、網野善彦、伊藤貞夫、中島義一、村井康彦氏の退任。
(2)理事長に服部春彦、理事に飛鳥井雅道、金田章裕（評議員より）、山田誠（評議員より）、評議員に岡村秀典、笠谷和比古、樺山紘一、久保一之、水田義一、武藤直氏を選任。
(3)常務理事に山中一郎氏を選任（評議員より）。
(4)旧理事長　朝尾直弘氏は理事に、旧常務理事夫馬進氏は評議員に復帰。

『史林』投稿規定

本誌の投稿規定は次の通りです。

◇資格　本会会員であること。
◇投稿受付原稿の種類、長さ
○論説　四〇〇字詰八〇枚以内
○研究ノート　四〇〇字五〇枚以内
○研究動向　四〇〇字詰五〇枚以内
○書評　四〇〇字詰二〇枚以内
○紹介　四〇〇字詰三枚程度
◇論説には四〇〇字以内の「要約」と「欧文要約」を添付のこと。
◇研究ノート・研究動向・書評には、「欧文タイトル」のみ添付のこと。
◇注は各章末に入れること。
送り先　史林編集委員会
〒六〇六　京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

御注意

図表、あるいは特殊活字を掲載する場合には、その印刷経費の一部を負担していただくことがあります。また、図版の詳しい投稿規定は第七七巻第三号一五九頁にあります。

編集後記

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。七七巻四号をお届けします。史学・地理学・考古学の各分野の秀作を集めることができました。ご吟味のほどお願い致します。

日本をとりまく政治・経済情勢は、全く先行不透明で、社会党の村山首相の誕生劇も、何かしらこっけいに見えたのは私ばかりではないはずです。今こそ歴史を動かす主体はどこにあるのか、各人がそれぞれに考え直す時ではないのでしょうか。（た）

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されております。

一九九四年六月二五日印刷
一九九四年七月一日発行　定価一二〇〇円　送料六〇円
史林　第七七巻第四号（通巻第三八六号）
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内
発行人　史学研究会
振替京都〇一〇七〇二一五一一五五番
理事長　服部春彦
京都市下京区七条御所ノ内中町五〇
印刷所　中村印刷株式会社